

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科		商業		科目	ビジネス基礎		学年	2年次	単位数	2単位				
教科書		実教 ビジネス基礎			副教材		なし							
レポート 添削指導		6通		スクーリング 面接指導		4回		メディア 視聴票		2通		試験	2回	
指導 目 標	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。													
No	日付	レポート 提出日	単元		学習内容					面接 回数	メディア(NHK高校講座)			
1	4月12日	5月22日	1章 商業の学習とビジネス 2章 ビジネスとコミュニケーション		1 いざ、ビジネスの世界へ 2 私たちの社会とビジネス 1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー					1	1 私たちの社会とビジネス 2 ビジネスとコミュニケーション			
2	5月22日	6月19日	3章 経済と流通の基礎		1 経済の仕組みとビジネス 2 経済活動と流通					1	3 経済の仕組みとビジネス 4 経済活動と流通 5 ビジネスの種類① 6 ビジネスの種類②			
3	6月19日	7月17日	4章 さまざまなビジネス		1 ビジネスの種類 2 小売業 3 卸売業 4 物流業 5 金融業 6 情報通信業						7 小売業 8 卸売業			
4	7月17日	10月29日	5章 企業活動の基礎		1 ビジネスと企業 2 マーケティングの重要性 3 資金調達 4 財務諸表の役割 5 企業活動と税 6 雇用					1	9 物流業 10 金融業 11 情報通信業			
5	10月29日	11月27日	6章 ビジネスと売買取引		1 売買取引の手順 2 代金決済					1	12 ビジネスと企業 13 マーケティングの重要性 14 資金調達 15 財務諸表の役割/ 企業活動と税 16 雇用 17 売買取引の手順 18 代金決済 19 ビジネス計算 20 身近な地域のビジネス			
6	11月27日	1月23日	7章 ビジネス計算 8章 身近な地域のビジネス		1 ビジネス計算の基礎 2 ビジネス計算の応用 1 さまざまな地域の魅力と課題 2 地域ビジネスの動向									
学習の成果に係る評価規準														
【知識・技能】														
資料や状況から、内容を多面的に読み取り、概要や主題を明確にし、文章にまとめ表したり、発表することができる。														
必要な情報を様々な手段で複数入手し、信頼性が高い情報のみを選択し活用できる。														
主題に対し、結論を持ち、その理由と合わせ、異なる意見を持つ他者でも十分理解できる、多くの記述ができる。														
【思考力・判断力・表現力】														
与えられたテーマの複数の問題点や課題に気づき、その根拠に基づいて、文章に表したり、発表することができる。														
自ら、その根拠に基づいて、新たな発想や提案をすることができ、それを発表できる。														
自ら自分の意見を、その根拠に基づいて発表することができる。														
【主体的に学習に取り組む態度】														
意欲的・積極的に取り組むと同時に周囲に対しても気配りをし、共に取り組みをしていこうと呼びかけることができる。														
自ら仲間を助け、分担なども行い、率先して、共に作業をすることができ、困っている仲間を助けることができる違う意見に対し、比較・検討し、その中から解決策を導き出すことができる。														
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。														
○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。														
単位の修得の認定に関する基準														
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。														